

2024 年度実施したこと**① 佐賀県強化練習会（計 20 回）**

将来を見据えた「個」の育成を基本方針とし、その土台となる技術・戦術・トレーニングの指導を行った。

② 丸田コーチ練習会【10 月 22 日開催】

2022 年度にヘッドコーチとして第 2 回 Jr. ウインターカップ準優勝をはじめ、2021 年度ウインターカップ準優勝の福岡大学附属大濠高等学校のサポートスタッフを務めるなどの指導歴がある丸田健司コーチを招聘することで、佐賀県の中学校カテゴリーの選手を強化し、佐賀県の指導者のバスケットボールに対する理解を深めることを目指した。

③九州ブロック DC【2 月 8 日・9 日開催】

日本バスケットボール協会より U18 日本代表ヘッドコーチや日本全体の育成担当の長らをお招きし、佐賀県の子ども達への指導および九州のコーチへ研修をしていただいた。

2 月 8 日（土）			2 月 9 日（日）		
時間	メインプログラム	サブプログラム	時間	メインプログラム	サブプログラム
12:30-13:00	集合・受付		8:30-9:00	集合・受付	
13:00-13:10	開講式		9:00-9:40	インテグリティー講習	
13:10-13:40	コーチングレクチャー		9:40-10:00	マンツーマン講習	
13:40-14:00	指導実践に向けて		10:00-10:20	コーチミーティング	
14:00-15:30	指導実践 1	保護者講習会	10:20-10:50	指導実践 1	保護者講習会 (60 分)
15:40-17:10	指導実践 2	UI5MG 会議	10:50-11:20	指導実践 2	
17:10-17:40	コーチミーティング		11:20-12:00	指導実践 3	
17:40-18:40	スポーツマンシップ講習		12:00-12:10	全体の振り返り	
18:40-18:50	連絡・解散		12:10-12:20	閉講式	

④地区選抜練習会で伝達講習【10 月，11 月開催】

強化委員会のスタッフが、地区選抜の練習会に参加し、30 分程度練習を担当させていただいた。日本バスケットボール協会の育成担当が、各県の指導者に求めていること（選手自身が目的意識をもって練習に取り組むこと、練習の中で失敗体験を仕組むことなど）を県内の選手・コーチに伝えようと試みた。

⑤IMG 練習会【3 月 22 日・23 日開催】

アメリカの IMG よりコーチを派遣していただき、佐賀県の子ども達へ指導をしていただいた。一昨年度も同様の練習会を行っており、この練習会をきっかけに日頃の練習への取り組み方が改善された選手が多くいた。

ふり返り

【Good】

- ・U14九州ブロック大会では、男子が全勝で終えることができ、強化育成で取り組んできたことの成果が出始めた。
- ・コーチ陣が協力して指導にあたることができた。
- ・佐賀県内で開催した、他県のDCチームをお招きした交流戦が効果的だった。来年度も継続したい。

【Bad】

- ・一部のコーチに負担がかかり過ぎた。もっと分担してできることがあったと思う。

【Next】

- ・コーチ陣の負担を軽減できるよう、練習会の在り方を工夫した方が良い。
- ・補助金が減る見通しもあり、活動を精選する必要がある。
- ・強化委員会の活動を持続可能なものにするために、より多くのコーチに関わっていただく工夫が必要。

2025年度に取り組むこと

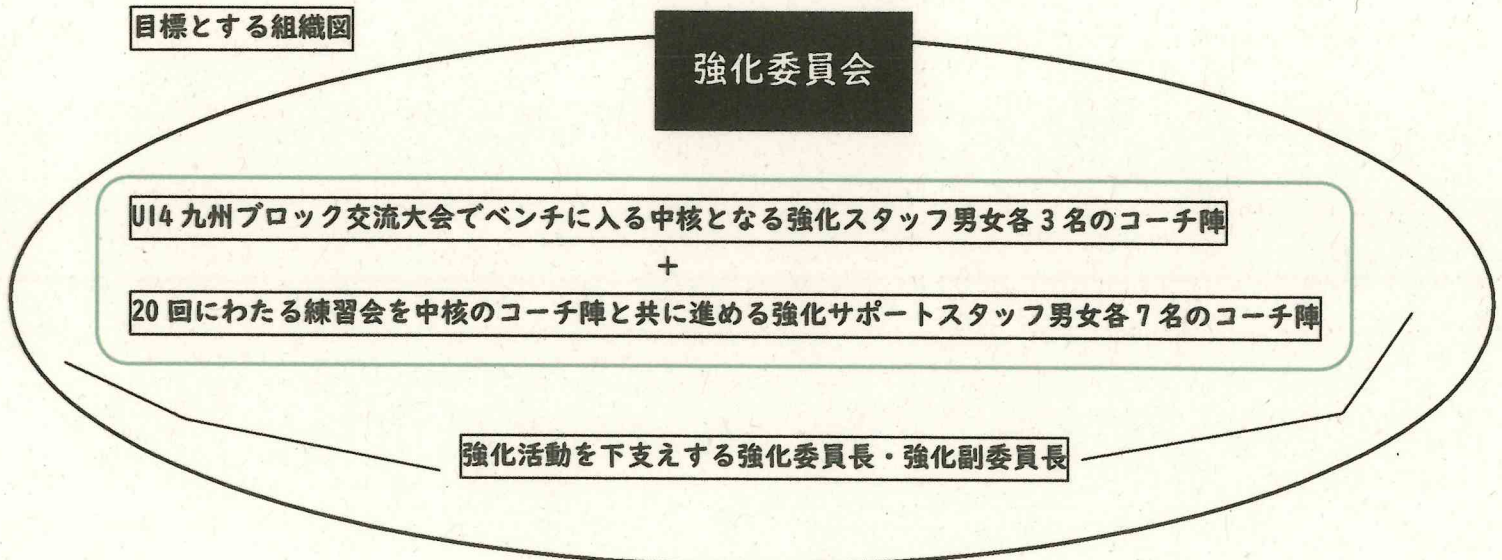
<テーマ>

「持続可能なプレーヤーズセンタードコーチングのシステムの確立」

具体的には、次のようなことに取り組みたいと考える。

- ① 練習会の回数・選手（家庭）が支払う参加費は現状の水準を維持する。
- ② 強化委員会の活動に関わるコーチの数を増やして、ひとりひとりのコーチの負担減らす。
(選手もコーチも、その周りの家族も含めた視点で練習会の質を維持できるシステムの構築に挑戦する。
forms等を活用し、強化委員長がそれぞれのコーチに担当していただく練習会・日程を割り振る。)

目標とする組織図



佐賀県バスケットボール協会 U15 部会総会資料 【審判部】

R7.4.21 北島作成

日頃より、審判活動ならびに各種大会運営へのご協力ありがとうございます。

バスケットボールでは1試合につき2～3人の審判員を要し、皆様のご協力により大会が成立しています。今年度も皆様にご協力いただけるよう、制度等について記載します。ご一読ください。

1. 審判ライセンス制度

【概要】

○JBA『2016(平成28)年度より、公式戦を担当する審判は必要資格を保有していること』

→連盟大会、地区大会、県大会等ではライセンス(ワッペン着用)が必須

U15では各地区大会(新人戦や中体連)、春季大会、県中体連、U15選手権、県新人大会 など



【新規取得】

○これから始める方→E級審判新規取得講習(eラーニング)の受講・合格により取得

TeamJBAのページにて登録手続き、受講(4/1～1/25、申込日から30日間受講可)

○経験がある方はC級、D級の取得をぜひご検討ください。詳しくはお問い合わせください。

【養成(昇格)】

○養成(昇格)希望の方は、審査1か月前を目処に北島までご連絡ください。(B級希望者は5月末までに)

希望者は、以下のいずれかにて実技テスト合格→eラーニング受講等の手続きが必要になります。

○CD級養成(昇格)審査の予定大会 (詳細は近くなったら県協会ホームページに案内が出ます)

①7月～9月

U12 リーグ戦

②7月下旬

U18 杵藤地区大会

③9/23(火)

U15 Jr.ウィンターカップ県予選

④12/6、7(土、日)

U15 中学生地区対抗大会

○B級昇格審査の予定大会 ※実技審査、eラーニング、フィットネステストの合格が必要

10月5、12日(日、日) 佐賀県社会人選手権大会

☆現ライセンスの更新手続きを、6月末までに完了させておく必要があります☆

☆B～D級の実技審査合格後は、チームjbaでの申込手続きが必須です☆

【更新】

○S級～E級すべてのライセンスにおいて、毎年度更新登録が必須。手続きはTeamJBAのページで。

今年度登録手続きがお済みでない方は早めに。(システム上、6月末が〆切)

○C級、D級は奇数年度実技審査。2025年度は更新のための実技審査あり。

○B級は毎年実技審査、フィットネステストあり。更新フロー要確認。

(佐賀県バスケットボール協会ホームページ、レフリーのページに掲載)

【返納・降格】

○JBAへの報告が必要なため、事前に北島までご連絡ください。その後手続きとなります。

2. 県大会の運営について

- 出場チームのスタッフが様々な部署の役割を掛け持ちし、相互協力により大会運営が成立しています。
チーム数が多い大会初日～2日目は全ての参加チームに審判の協力をお願いします。負担が偏らないように配慮して割当しています。

審判経験を考慮して割当てを作成します。遠慮なくご相談ください。

→大会参加にあたり、各チーム1～2名は審判ライセンスの保有をお願いします。

- 急な変更への対応のため、帯同審判の連絡先を把握しています。
大会要項確認後、右のフォームから帯同審判情報の入力をお願いします。
○県大会の割当を確認されたら、右のフォームから割当受諾の回答をお願いします。
なお、審判割当は審判員以外へは部外秘での取り扱いをお願いします。
○審判員としてご協力いただける方は、印鑑をご持参ください。



3. 審判研修について

- E級、D級を取得した後、実際にコートに立つことに不安を感じる方もいらっしゃると思います。そこで、以下の日程で審判について学ぶ機会を設けたいと考えています。詳細は改めてご案内します。

・12/6(土) 地区選抜対抗戦→E級、D級の実技研修

レフリーカッター、レフリースラックス、ホイッスル、黒のシューズ、ワッペン持参

県大会の最終日は審判研修会を行っています。審判控室でのミーティングを見学していただくことも可能です。年に数回の機会ですが、高め合える機会にできるよう取り組んでいます。

4. その他(各種情報は佐賀県バスケットボール協会ホームページにて随時更新→)

- ライセンス取得後、登録のメールアドレスに様々な情報提供があります。各種大会の審判依頼はGoogleフォームでの回答が多いです。参加の可否に関わらず、回答のご協力をお願い致します。



- カップ戦、地区大会を運営される方へ。高校生以下審判員については、大会ごとに『承諾書』を提出する必要があります。都合同いめ切までに、承諾書の確認をお願いします。
○体調不良、ケガ等で予定されている審判に入れなない場合は、速やかにご連絡ください。

5. ルール等についての参考資料

- 「2025バスケットボール競技規則」「2025オフィシャルズ・マニュアル」の発行
説明動画パート1→<https://youtu.be/hJZvXmmVvBQ>
説明動画パート2→<https://youtu.be/iis0o0nuTnk>



- プレーコーリング・ガイドラインも参照ください。各種QRコードは→



6. U15カテゴリーA、B級審判員

江原直樹、溝上郁夫、草野優、千住靖明、秀島充彦、松尾英、本谷正三郎
永山智英、岡井元毅、古瀬和也、宮崎洸丞、江島佳博、北島和明

何かあれば、お気軽に上記のメンバーにお問い合わせください。



☆マンツーマンコミッショナーの設置の目的 (JBA より抜粋)

- ・マンツーマンに対する理解を推進すること
 - ・円滑に試合運営を行い、よりバスケットボールを楽しめる環境を構築すること
 - ・オフェンス、ディフェンスの両面において1対1の競技力向上
- ※違反行為を取り締まることではない=罰則を目的としていない

1. ルール修正について (QRコード参照)

・ 2025年度3月よりルールが修正されています。整合性がとれていなかった箇所、意味合いが修正されています。

QRコードより JBA の WEB ページ「マンツーマンの推進」(http://www.japanbasketball.jp/players_development)で基準規則の修正点を確認いただけます。

マンツーマンの推進



2. 大会の運営について

・ 現在県大会において、各会場すべての試合に対して MC の設置が人数の都合上、厳しい状況です。

原則、MC の設置は準々決勝、もしくは準決勝から行っています。

県大会2日目以降は、自チームの勝ち上がりに関わらず MC 割当にご協力を頂ければと思います。

3. その他

・ 今年度、県大会における MC 割当作成の連絡として、LINE のグループを利用させていただきます。右の QR コードからグループへの参加をお願いします。

LINE グループ
「MC 佐賀県 U15」



今大会もたくさんのご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。何かご不明な点等がありましたら、佐藤(鳥栖西中 0942-83-2086)までお問い合わせください。